

私の留学体験記

広島県立廿日市西高等学校 2年 竹田莉帆 (たけだ りほ)

留学期間 平成31年3月16日～平成31年3月24日 (9日間)

留学先 Mabel Park State High School (Brisbane, Australia)

私はオーストラリアに9日間留学しました。前から留学したいと望んでいた私に、先生が声をかけてくださり、たくさんの先生方の支えもあって留学が決まりました。

まず、現地についてからホストファミリーと対面しました。最初私はとても緊張していました。そのため上手く英語が出てこずに戸惑ってしまい返事が遅くなったり、自分から話しかけたりすることができませんでした。しかし、ホストファミリーは気軽に話しかけてくださり、たくさんのお話をしてくれました。私の緊張もだんだんほぐれ、リラックスして会話することができました。ホームステイでは、オーストラリアならではの食生活や文化などを知ることができました。他にも、日本のことを話してオーストラリアとの違いを知ることができ、良かったです。



次の日からは現地での学校生活が始まりました。初めは周りに打ち解けることができるか不安でしたが、バディとお互いのことや国のことを話しているうちに仲良くなることができ、次第に私の不安は消えていきました。また、バディを通していろいろな人と会うことができ積極的に話せるようになりました。話しかけてくれる人も多く、楽しい時間を過ごすことができました。

一番印象に残っている授業は、日本語の授業です。たくさんある外国語の中で日本語に興味をもってくれている人がたくさんいることに驚いたからです。また、生徒のみんなが必死に勉強していてわからないところがあったとき、私に聞いてくれて勉強を手伝うことができ嬉しかったです。また、3月21日は多文化社会であるオーストラリアならではの、Harmony Day という、年に1回の行事がありました。その日は、文化を表すために民族衣装を着たり、好きな服を着たりすることができる日です。複数の民族の人がいたので、たくさんの民族衣装を見ることができました。さらに、いろいろな国の人が住んでいると改めて感じ、外国の人がいたら身構えてしまいがちな私は、他国の人も普通に接することができる人達を見習いたいと思いました。

私は今回の留学でたくさんのお話を経験しました。知らない土地で、英語で会話する生活は不安もあって上手くいかないと思っていました。しかし、実際行ってみるとそのようなことは少なく、自分から簡単な英語でもいいから積極的に話しかけたら、みんなしっかり聞いてくれるし、分からないことを聞いたら優しく教えてくれて、何も怖がらなくていいと分かりました。



それから、広い視野を持つことの大切さに気づくことができました。学校は5日間という短い期間でしたが、みんなと絆を深めることができたので、最終日は別れるのがとてもつらかったです。同時に、また会えるように、もっと勉強を頑張ろうと思えました。この経験はこれから英語学習をしていくうえで刺激になり、とても貴重で大切なものです。今回の留学の経験を活かして、今度は長い期間の留学に挑戦しようと思います。